

入居企業紹介

その 85

SIC に入居されている企業をご紹介します。

SIC-1 312
エス・ビープランニング株式会社



【プロフィール】

エス・ビープランニング株式会社
代表取締役 石橋 和之（いしばし かずゆき）78歳
島根県生まれ、大学時代に上京、相模原市在住
趣味は、人と話す事。

【企業のきっかけは？】

荒川区で建築資材企業に就職後、昭和44年、二本松で建築資材を扱う「石橋ホーム資材株式会社」を設立。住宅ブームの追い風を受けて、10坪の貸家からスタートした事業は順調に拡大し、年商19億円にまで成長。現在は、ご子息に会社経営を譲渡した中で、ご自身は住宅関連での新規事業を行うために、今回の会社をスタートさせました。

【事業紹介】

現在進めている事業は3つ。基本コンセプトは、住宅リフォーム関連で「低コストかつ高品質」な特徴ある技術を持つ会社と提携し、営業・施工を担うことで社会に貢献することです。

1. 浴室のリフォーム

従来の方法では、浴室ユニットの交換など施工時間と費用がかかるのが課題であったことから、現在の浴室を活かしたままで、低コストかつ短工期での画期的な「リフレッシュ工法」を採用し提供しています。

2. 屋上のシート防水

ドイツの企業と提携し、従来の溶剤を利用するシート接着では8年保証であったものに対し、温度による融接技術を導入で製品保証25年、施工保証で10年を実現するものです。

3. 玄関ドア

東日本大震災では、玄関ドアが開かなくなり相当数の方々が避難で苦労したといえます。同社では日本のメーカーと提携し、住宅が崩壊しても開くドアを提供しています。

持ち家のお客様、アパート・マンションのオーナー様、管理会社・不動産会社様に特等です!!

浴室リフォーム革命。

浴槽やユニットバスの交換不要、大がかりな工事なし

**現在の浴室を
そのまま活かした
画期的な
低コスト 短工期
リフレッシュ工法**

えっ!? これが同じお風呂?

思わず目を疑うほど、ツルツル、ピカピカに生まれ変わります。

【課題となっていること、苦労していること】

現在は社員2名。今後は、事業の営業を強化するために、住宅関連のネットワークを有するシニアの方々に協力をいただきたいと思います。

勤務時間を固定させる雇用形態ではなく、空いている時間を活用し協力いただくコミッションセールスです。長年の経験で培った業界・人脈をぜひ活用いただきたいと思います。

【これからの夢または目標は？】

「不景気と呼ばれている時代ではあるが、自分はそうは思わない。時代に応じて顧客が要請するものを提供できればビジネスは存在すると、確信している。今後も挑戦し続けたい。」

喜寿を過ぎても情熱溢れる石橋さん、50年以上にわたる建築業界でご経験と今後の展望を熱く語っていただきました。新たな挑戦にエールを送りたいと思います。

エス・ビープランニング株式会社

SIC-1 312

TEL:042-770-9368

URL:www2.ocn.ne.jp/~sbplan



入居企業トピックス

● 今月の掲載記事紹介

10月の新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。ご紹介する記事は、SIC-1と2に掲示していますので、どうぞご覧ください。

10月 3日(月) **サンマルコ株式会社**

神奈川新聞 「地震対策に効果を発揮するフィルム」

10日(月) **株式会社ベリフォア**

相模経済新聞 「技術力とコンサル能力で高効率の検証作業を追求」

17日(月) **有限会社ジャパンテクニカルパートナー**

神奈川新聞 「安全・安心な食品製造のために」

31日(月) **Kimono World Life 株式会社**

神奈川新聞 「ふだん着物を通じて世界とコミュニケーション」

入居企業の皆様へご案内

11月の販売予定日 in SIC

くるまかふえ **Sky Days** <http://skydays.net>



4日(金)

11日(金)

18日(金)

25日(金)

パン・飲み物ともに
なくなり次第終了です。

営業時間 11:30 ~ 16:00

かわせみの家 <http://17.ocn.ne.jp/kahasemi/>



10日(木)

クッキーやケーキを販売します。

営業時間 11:00 ~ 13:00

なくなり次第終了です。

SICからのお知らせ

SICヘルスサイコロジー研究所 平成23年度第2回セミナーの開催について

今回のセミナーでは心理学の観点から、実践で使えるフィードバック方法を提供致します。講義だけでなく、ワークを通じて、皆様に体験していただく時間も用意しています。

皆様のご参加をお待ちしております。

■開催日時：平成23年11月16日(水) 14時~16時30分

◆対象者：企業経営の方、従業員の方

■定員：20名程度(申込順)

◆会場：さがみはら産業創造センター 大会議室

■講師：金野 信一(ヘルスサイコロジー研究所研究員)

◆主催：SICヘルスサイコロジー研究所/相模原市

■お申込み：電子メール・電話・FAXのいずれかでお申込み下さい。

◆お問合せ：SICヘルスサイコロジー研究所

担当：神庭、土橋、鈴木

Tel: 042-770-9856 Fax: 042-770-9077

メールアドレス: psy@sic-sagamihara.jp

ご報告

The HINT 第5回 青山学院大学「機器分析センター」見学会について

10月13日(木)に青山学院大学「機器分析センター」見学会を開催しました。当日は、地域企業約20社の参加を得、大型分析機器9種類12台を見学。見学会終了後は、公的支援機関を一同に集めた経営相談会を開催いたしました。

The HINTは今後も定期的に公的支援機関を一同に集めた経営相談会と皆様のヒントになるミニセミナーを開催してゆきます。



2011年11月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理：10月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成
税務：中間・予定申告



「かわせみの家」さん出店日

「Sky days」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1 会議室1月分 予約受付開始	2 第21回 南西フォーラム	3 文化の日	4	5
6	7 *SIC-1 エレベーター点検	8 SIC-2 自動ドア保守点検	9	10	11	12
13	14	15	16 ヘルスサイコロジー 研究所セミナー	17	18 SIC-2 空気環境測定	19 経営塾 SIC-1 床面定期清掃
20	21	22 TOKYO ECO STYLE 展	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29	30	1 会議室2月分 予約受付開始 リーダー塾	2 表面技術協会 講演会	3

* エレベーター点検 9:45~10:45の間はご利用になれません。 お問い合わせは 生井(内線1116)まで

SICのWEBサイトでもご覧頂けます。

「計画的戦略」と「創発的戦略」

今年の「SIC経営塾」はお陰様で第10期を迎えることができた。講師は浜銀総合研究所の寺本明輝氏。受講者12名。多様な業種から個性的なメンバーが集まった。自社がどうしたら成長できるのだろうかとの問題意識を持った「志」の高いメンバーである。講義は「自社の現状分析」→「経営理念と存在意義の確認」→「事業領域の定義」へと進んでいる。そして10月第6回のテーマは「戦略シナリオを考える」であった。2月に予定されている「事業構想」発表に向けて、構想具体化を考える時期である。その講義で「計画」と「創発」の話があった。確認しておきたいポイントの1つであり紹介したい。

「経営者は、新たな環境状況を認知して自社を『このような会社になりたい』というビジョン（戦略意図）を描き、これを実現するためにドメインを規定し、戦略計画まで具体化していく。もし環境が安定的であり、当初認知していた状況と大きく変わらないのであれば、経営者の構想はある期間のなかで実現に向けて近づくことになる。このようなプロセスは、『意図した戦略』から『計画された戦略』を経て『実現された戦略』に至る経営戦略の計画的側面を表している。」

「しかし、環境が変動的で、予想もしなかったような状況が生じるならば、経営者が当初考えていた戦略的意図は実現することが困難になり、戦略構想の変更を余儀なくされる。つまり、戦略構想のいくつかは実現されることなく放棄される。」「逆に、環境の予期しない変化によって当初予想もしなかった事業機会が認識されるかもしれない。環境の予想もしなかったような変化は、当初の戦略意図の実現にとっては危機であるが、企業を飛躍的に発展させる機会を提供する可能性がある。」「企業がこのような環境の好機をとらえ、発展の契機にすることができるか否かは、社外から創発的に戦略行動が生

まれてくるかどうかにかかっている。」「戦略形成のプロセスには計画的側面と創発的側面があり、どのような側面が強く現れるかは環境の状況と企業の組織的特性によって異なる。」

「経営戦略の決定が、将来に関して不確実性が支配する『部分的無知』のもとでの決定である以上、戦略をあまり詳細に計画化することは、経営の柔軟性を失わせ、特に環境の変化が激しいときには大きな危険がある。」

「逆に、経営戦略をあまり曖昧にしすぎると、意思決定の指針としての効果に問題が生じる。」

「経営戦略にどの程度の具体性（計画性）と柔軟性（創造性）を持たせるかは、環境の状況によって異なる。」「経営戦略が『計画された』と『好機に乗じる』のどちらにも極端に走ると、長期的には良い結果を生まない。企業は、両方の戦略を必要としており、効果的な戦略の答えはそのダイナミックな融合のなかにある。」

このように、「経営計画」は必要だ。計画がなければ、「成り行き」である。短期的な勝者になることはあっても、長期的に継続できない。一方「チャンス」は突然現れる。計画は出来ない。「ビジネス・チャンス」を計画に無いからと無視するのは勿体ない。この「チャンス」を「チャンスと捉える能力」も必要だ。「チャンス」を掴みに行き、考えて、考えて、考えると、その中から「創発」が生まれ「チャンス」をゲットできる。良く考え、実践する。実践しながら、考える。このバランスが、経営者やリーダーに求められているようだ。特に経済環境変化の激しい時代には。

《参考文献》

- 「経営戦略」（新版）論理性・創造性・社会性の追求
2006.7. 有斐閣アルマ
大滝精一・金井一頼・山田英夫・岩田智[著]
- 「変わる会社が生き残る!!」
2011.7. 相模経済新聞社 寺本明輝著

私の好きな漢字:

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介してまいります。
今月号ではSIC-2 508号室に入居されている、有限会社オフィスジオの一條さんにインタビューしました。

(有)オフィスジオは、商業デザイン印刷、編集企画印刷、サイン施行などを行っている会社です。具体的には会社案内、学校案内、ポスター、パンフレット、記念誌、会報誌、広報誌、ホームページなどをつくっています。

一條さんは主にインタビュー記事や取材原稿、コピーなどを書いていらっしゃいますが、その他にも経理全般、総務関係など、業務内容は多岐に渡っています。取材やインタビューでいろいろな人の話を聞くことができ、楽しく仕事をされているそうです。

好きな漢字は『颯』。

この字のように颯爽と年を重ねていけたら、との思いから選んでくださいました。

現在は、5年ほど前から始めたランニングと、3年ほど前から始めたゴルフにはまっていて、昨年はシャレでエントリーした「東京マラソン」に当選し出場。土砂降りの中、人生初のフルマラソンを5時間で完走したそうです。走っている時は本当に爽快な気分になるので、できる限り長く続けたいとのこと。

当面の目標は、ハーフマラソンで2時間切り、フルで5時間切り。それからゴルフスコアの100切りだそうです。

【 有限会社オフィス・ジオ 一條 光世 さん 】

もちろん、プライベートだけでなく仕事も頑張りたいと笑顔の一條さん。選ばれた漢字そのままの印象を受けました。

颯



東京マラソンの完走記念メダル
東日本国際親善マラソン完走証
北軽井沢マラソン完走証



猫を4匹飼っている一條さん。
アメリカンショートヘアーのファミリーです。
左は母猫、右は息子猫の写真です。

証言で綴る SIC の歴史

SIC の誕生に関わった方達の証言をもとに、SIC の歴史を振り返ります。

有限会社 GMP創房 取締役 前田 圭一郎

ー 第2回（2回連続でのご紹介です） ー

■SIC-1に係った専門家集団

SIC-1の構想策定と事業計画立案には、西澤正樹氏（現 亜細亜大学／同大アジア研究所 教授）を中心に、専門家集団＝『関軍団』の関与がありました。

西澤氏は、当時、「フルセット型産業構造を越えて／中公新書（中央公論社）」などの著作で日本の中小企業に焦点をあて、日本の中小企業の優秀さを世間に訴えると同時に、今後の中小企業の在り方、特にアジアとのネットワークの必要性を訴えていた関満博氏（現 明星大学経済学部教授・一橋大学名誉教授）を中心に、当時、『関軍団』と称されていた専門家集団のメンバーの一人でした（筆者もメンバー）。

当時『関軍団』はビジネスインキュベーション事業について高い専門性と志を有するメンバーからなる集団で、神戸市長田地区の震災復興支援（ケミカルシューズを中心とした地場産業復興）、大田区、三鷹市をはじめ、各地での主に公的主体によるB1事業立上の支援などを行っており、SIC-1においてもその専門性は発揮され、SICの礎を整える一助となったのではないのでしょうか。

■SIC-1の3階建の理由＝優れた設計者の存在

事業性を考えると、当然のことながら工事費には上限があります。当初の構想段階では、SIC-1は2階建を予定していました。当時の工事費としても決して高いとはいえないギリギリの額を工事予算として組んでおり、敷地面積と工事費を勘案すると、2階建を前提にした規模が精一杯との結論を出していました。

ところがプロポーザルにより選定された設計者（創夢設計／SIC-2、3の設計者でもあります）の知恵と工夫により、さらなる工事費の圧縮に成功＝同じ工事費で収益を得る事業床の増床ができることになりました。工事費は当初予算と変わらず、収益機会が増えるのですから、その事業性は大きく向上することになります。現在のSIC-1は3階建ですが、これは上記の設計者の優れた設計力とB1事業及び地場産業への深い理解の証と言えます。

（以上）



建設当時の SIC-1

山本のめし屋レポート

橋本駅北口到手頃な価格でワインが楽しめるワイン酒場を発見しました。

ワインはどれも1本 1,980 円なんです。

今回は入居している企業の方と三人で赤、白、ロゼ計3本を一気に飲んできました。それも月曜だったのでなんと半額の990円。すごく得をしたような気分になりました。毎週月曜は半額の990円です。

注文したお料理はチーズ、ピザ、ソーセージ、サーモン・かんぱちのマリネ。美味しかったです。

ワインが好きな職場の仲間と月曜に繰り出しましょう。

橋本ワイン酒場「魚しげ Gabu」



ランチ営業もしています

Pasta
or + Salada + Drink
Pizza
⇒ 580 円（税込）
Pasta・Pizza
All 525 円（税込）

■営業時間 <月～金> 11:30～14:00 17:00～24:00
<土> 11:30～24:00 <日> 11:30～23:00
■電話 042-775-5144 ■住所 相模原市緑区橋本 3-15-17 HK ビル 1F

編集後記

コーヒー、紅茶にココア、ホットミルク、お汁粉などなど、温かい飲み物が恋しくなる季節です。

くるまかふえ Sky Days さんでは、ランチタイム（12時～13時）に待たずにコーヒーが買えるよう、「ランチタイムほっとコーヒー」サービスを始めています。予め、ハンドドリップでいれたコーヒーを1杯 180 円で味わえます。ほっと一息、いかがでしょうか 三露

★ご意見・ご感想をお待ちしています。（株）さがみはら産業創造センター（SIC） 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp